目黒稲門会 EXPRESS

★★★★★★2002年2月発行/第9号★★★★★



2002年新年会、目黒雅叙園にて開催!

1月14日成人の日、午後6時より目黒雅叙園において、中 上美代子幹事の司会のもと、新年懇親会を開催しました。 新年会も会を重ね、今年で3回目。それを記念しての講 演を真仁田会長を通じて東京都副知事・青山氏にお願い しました。同氏は「後藤新平と東京」と題する講演を行 なってくださいました。

開会に当り、真仁田会長は新年の挨拶のなかで、我が早 稲田大学125周年募金への協力に触れるとともに青山氏 の人となりを紹介されました。(目黒区長・薬師寺克一 氏は会長挨拶のあと、区の状況報告と当会への祝辞を述 べられ、時間の都合上退場されました。)

青山氏の講演は、後藤新平の先見の明についてが中心で した。80年前、後藤はいち早く都の防災・交通・インフ ラが必要かを認識し、実行したという事実をお話いただ きました。また後輩・正力松太郎氏の念願であった新聞 事業の展開に後藤が私財を投げ打って援助したことなど、 我々が心すべき秘話もいろいろお話いただけました。

土方監事の乾杯につづき、金屏風を背に坂東流・阿部雅 子さんに新春にふさわしい「白扇」を舞っていただきま した。拍手のあと、樋口事務局長のお孫さんと中西幹事 が花束を贈呈しました。

次に来賓の浜口氏、目黒三田会・上原氏&深津氏、世田 谷稲門会・寺沢氏、品川稲門会・桜井氏のご紹介を行な いました。アトラクションに移り、海口氏(カラオケ部 会長)に司会が交替。何よりも「ノドが自慢」のカラオ ケ部会の面々が次々と登場して得意の持ち歌を披露。一 方ダンス部会の元気者たちも「ルンバ」「ブルース」な どを踊りだし、大いに盛り上がりました。

次に品田一良相談役による福引。一喜一憂の歓声のなか 終了し、再びカラオケ再開。中上司会者の提案により、 品田研一氏の指揮で高らかに校歌斉唱。土川副幹事長の リードで早稲田・慶応・当会にエールを送り、中沢副会 長の閉会の辞により午後8時に散会しました。(樋口・記)

●出席者

<来賓>東京都副知事青山氏、月里区長薬師寺克一氏、 目黒区水泳連盟会長浜口喜博氏、目黒三田会会長上原知 男氏、同副会長深津和彦氏、世田谷稲門会事務局長寺沢 隆夫氏、品川稲門会会長桜井輝隆氏

<会員>浅海敏之、阿部喜久雄夫妻、阿部隆彦、荒瀬修一 郎、有山勇次郎、安藤虎雄、市川ルミ、石嶋惣一、伊藤源 喜、井村正陽、岩崎正夫、海口昭治、榎本茂、大賀正雄、 大野利幸夫妻、大山高明、岡田鐘吾、小川裕正夫妻、尾崎 充、海沼美智子、加藤栄護夫妻、川崎真樹子、岸猛弘、桑 野祐光、計良勝利、郡山弘文、品田一良夫妻、品田研一、 島田久家、杉田則弘、鈴木正明、田島順一郎、土川俊雄、 手塚仁雄、戸塚悟、外岡明、永井順一郎、中上美代子、中 沢信平、長島清志、中田陽久、中西千可子、林田雅敏夫妻、 樋口定広夫妻十孫・米田麻美、土方正巳、平沢栄夫、藤岡 長世、松岡雅敏、松戸猛、松原進一、真仁田勉夫妻、水野 弘文、宮下光司、森家一三、保井正、梁瀬陽太郎、八幡和 三郎夫妻、横山大、渡辺三郎、渡辺明久





●出席者は、青山講師の知的で説得力ある講演に聞き入った。



目黒稲門会にご要望、ご提案がございましたら、事務局または幹事までお申し出ください。 会員皆様の声を反映し、早稲田の稲穂のように実り豊かな活動をしていきたいと思っています。

目黒稲門会事務局

TEL:03-3723-2637 FAX:03-3723-2637

152-0003東京都目黒区碑文谷3-4-17

新年のご挨拶

お蔭様で2002年新年会も成功裡に終えることができました。早いもので、この目黒稲門会も3月で丸3年。会員も150人を超えるところまでまいりました。各部会も皆さん積極的に参加いただき、親睦の輪が広がってきています。とくに、ゴルフ、囲碁、麻雀部会では、他稲門会や校友会関係の方々との交流も行なわれ、稲門会全体の盛り上がりにつながり、嬉しく思っております。

母校・早稲田大学は現在、125周年記念事業に邁進しています。ますます少子化のなか、早稲田大学も安穏としている時代ではありません。より社会に必要とされる大学たるべく、奥島総長を先頭に着々と計画を実現しています。昨年は新学生会館が完成。自由で創造的な早稲田学生文化が花開くことと思います。このような母校の改革への情熱を、目黒稲門会としてもOB/OGとしてサポートしていきたいと考えています。

早稲田スポーツも復活の兆しがみえてきました。学生ラグビーでは11年ぶりの優勝。箱根駅伝でも健闘の姿を見せてくれました。この学生たちの頑張りから元気をもらい、目黒稲門会も2002年を明るく突っ走っていこうと思います。よろしくお願い申し上げます。

目黒稲門会会長 真仁田 勉

* * *

創立125周年募金にご協力を!

早稲田大学は「グローカル・ユニバーシティ」を目指し、 創立125周年記念事業を推進しています。奥島総長を先 頭に、ソフト・ハード両面にわたり改革を開始しています。 その具体的計画とはーーー

- 1 新学生会館の建設(2001年秋、オープン済)
- 2 インテリジェント教育研究棟の建設
- 3 大隈講堂の内部改修 (多機能型文化ホールへ)
- 4 各種「プロジェクト研究所」の設置
- 5 寄付講座の設置
- 6 国際交流促進のための奨学金制度充実
- 7 博物資料の充実&電子化
- 8 雑誌センター/電子図書館の設置

これらの活動を支援するため、現在目黒稲門会としても 積極的に募金協力を推進中です。

趣旨にご賛同・ご協力いただければ幸いです。

*募金のお問合せは、事務局(03-3723-2637)まで

第三金曜は、飲み食い放題の「三金会」へ。、

目黒稲門会員誰もが参加でき気軽に飲み語りあう「三金会」。 毎月第3金曜午後6時より9時まで目黒通り「鮨八」(03-3719-2666)2階座敷を予約してあります。5,000円で飲み&食い放題。楽しい話題がポンポン飛び出します。次回は3月15日 (金)。飛び入り大歓迎!ブラっとご参加ください。

★連絡先:副幹事長・土川俊雄(03-3794-0396)

早稲田大学アークカレッジのご案内

生涯教育を手がける「早稲田大学エクステンションセンター」では、母校に関わりのある文化人を講師に招き「早稲田大学アークカレッジ」を開催します。今回は「心に癒しを」というテーマで、映画監督・篠田正浩氏、放送タレント・永六輔氏、バリトン歌手・山本健二氏の3氏に講演いただきます。会場は六本木・アークヒルズ。各講座とも受講料は3,000円と格安。ご興味のある方は、下記アークカレッジ事務局へ直接お問合せ、お申込みください。

<講座内容>

- 3月5日(火)映画監督・篠田正浩氏「デジタル時代の映像」(18:30~20:00)
- 3月8日(金)放送タレント・永六輔氏「タイトル未定」 (18:30~20:00)
- 3 月28日(木) バリトン歌手・山本健二氏「言葉の情感を歌う」(13:00~14:30)

<定員>各講座100名(定員になり次第締めきり)

<会場>アークヒルズ(アーク森ビル西36階)

港区赤坂1-12-32

<問合せ・申込先>早稲田大学アークカレッジ事務局 東京都新宿区早稲田町68大野ビル3階

TEL:03-5287-4486 FAX:03-3202-5659

